

# 平成27年度施政方針(要旨)

平成27年度の所信表明と予算概要をご説明申し上げ、町政へのご理解とご協力を賜りたいと存じます。昨年末、政府は『地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策』のほか、日本の現状と将来の方向性を提示していく『まち・ひと・しごと創生長期ビジョン』及び『総合戦略』を閣議決定いたしました。

本町といたしましても、急速に少子高齢化社会を迎える中で、地方版・総合戦略の枠組みを構築し、創意工夫を凝らした施策に取り組んでいかなければならないと認識しているところでございます。

近年、本町の大きな課題といたしまして、若者の定住促進や、地域の活性化対策を掲げてまいりましたが、これまでの取り組みが実を結び、念願であった『野方インターチェンジ』がついに供用開始となりました。道の駅「野方あさの」と併せまして、本町の地域経済等の成長に必要な拠点として、具体的な活性化策を検討していく段階に入ってきたものと存じております。また、有明高等学校の跡地構想につきましても引き続き周辺の地域特性を活かせるような構想の検討を進めてまいります。

私は、昨年の所信表明の場におきまして「未来のまちづくりに対して夢を描けるような取り組みに着手してまいりたい」と申し上げましたが、着実に本町が飛躍するための足掛かりを得られたものと実感しております。この構想につきましても、引き続き重要施策と位置づけ、優先的に取り組んでまいり所存でございます。

新年度の当初予算の大きな特徴といたしまして、人口減少対策、扶助費など行政経費の増加への対応策、公共施設老朽化対策など諸課題に取り組むための予算とし、次の3点を掲げております。

- (1) 自主財源確保及び農商工業振興のためのふるさと納税促進
- (2) 構造的な地域課題を解決するための『地方創生』への取り組み
- (3) 義務的経費の増加に対応するための財源構成のシフト

こうした考えのもと、編成いたしました平成27年度当初予算につきましても、一般会計当初予算額は、64億2,655万4千円でございます。それでは、各課の施策等について、ご説明いたします。

## 農林振興課関係

### 【水田農業関係】

収益性の高い米づくりを推進するため『実証ほ』を設置し、早期水稻の品質向上を図る。

### 【営農指導関係】

特産品の振興を図るため、新品目の導入や消費普及啓発の推進を図る。

### 【営農推進関係】

『人・農地プラン』の充実に資するため農地利用集積事業、認定農業者および新規就農者への支援業務を引き続き行う。

### 【畑かん営農関係】

受益者への広報活動と個別推進等を図りながら水利用の拡大に努める。

### 【畜産関係】

優良畜産の更新と増頭を推進し、生産技術指導の強化や家畜伝染病に対する自衛防疫の認識を高めるなど、防疫対策の強化に努める。

### 【林業振興関係】

新植や下刈りなどによる森林整備のほか、くにの松原の保全・維持・向上を図るとともに、引き続き防除事業を実施し、森林病害虫から大切な地域資源である松林の保全を図る。

### 【有害鳥獣対策】

被害防止対策巡視パトロールを継続し、農作物の被害軽減に努める。



## 耕地課関係

### 【農業基盤整備促進事業】

横瀬地区天神排水路および益丸地区排水路の整備を実施。

### 【農村振興総合整備事業】

町内各地区の農道、農業用排水路などの工事を実施。

### 【畑かん事業】

農道の測量設計や改良工事、排水路整備に加え、ほ場の給水栓設置を実施。

### 【シラス対策事業】

南中沖地区および西中沖地区を引き続き実施し、新たに東中沖地区の排水路整備計画を推進し、農地の排水対策を進める。

### 【町単独事業】

野方中谷地区農道舗装工事、楸岡集落道測量設計業務を実施。

### 【多面的機能支払交付金事業】

従来の農地・水保全管理支払交付金事業から移行した新制度。引き続き共同活動の支援と農業用施設長寿命化に取り組む活動組織において、用排水路整備などへの支援。

